



製塩土器が出土した様子 小山・南谷遺跡

今年の子どもミュージアムは「むかしのひとの塩作り」です。展示の一部をご紹介します。

塩作りの始まり
外国では岩塩から塩をとっていましたが、日本ではこのような資源に恵まれていなかったため、海水から塩をとっていました。海水から塩をとるには海水の水分を蒸発させて、塩分濃度の濃い海水(かん水)を作り、これを煮詰めます。

西日本では弥生時代中期に岡山県南部で塩作りが始まりました。やや遅れて、岡山県・香川県の島々やその周辺地域でも塩作りが行われるようになりまし。香川県では土庄町豊島

の檀山遺跡などで弥生時代中期の製塩土器が出土しています。その後、塩作りは沿岸部の平野でも行われるようになり、高松市前田東町にある前田東・中村遺跡では同じ弥生時代中期の製塩土器が出土しています。弥生時代後期になると、高松市高松町の奥坊権現前遺跡、高松市高松町の大空遺跡、高松市高松町と新田町にまたがる小山・南谷遺跡などでも製塩土器が出土し製塩の広がりがうかがえます。

大浦浜遺跡 弥生時代から鎌倉時代の塩作りの遺跡
坂出市の沖合に浮かぶ櫃石島の南東部に大浦浜という浜があります。この浜にある大浦浜遺跡は瀬戸大橋建設に伴って発掘調査をした遺跡です。大浦浜遺跡では弥生時代から平安時代の製塩土器や、古墳時代後期の製塩炉、鎌倉時代のかん水槽跡などの塩作りの跡がみつかりました。

製塩炉の平面形は方形で、床面の両端には人頭大の石が置かれていました。古墳時代の製塩炉は直島町にある喜兵衛島のキヘ工南東浜遺跡や坂出市沙弥島にあるナカランダ浜遺跡でみつかっています。

平成28年6月から、丸亀城跡(大手町地区)の発掘調査が始まりました。今回の調査場所は、丸亀城下町の中でも、内堀と外堀の間の、江戸時代の武家屋敷が並んでいた場所です。

このような武家屋敷などに、いつ頃・だれが住んでいたのかは、発掘調査のみで確かめることは困難です。それらを知るうえで、江戸時代に描かれた絵図などの資料が重要となってきます。

丸亀の城下町の絵図は江戸時代に何度か作られており、絵図の内容の変遷から、当時の建物区割を考えることができます。

今回の調査を行っている範囲は、下の嘉永7年(1854年)の絵図

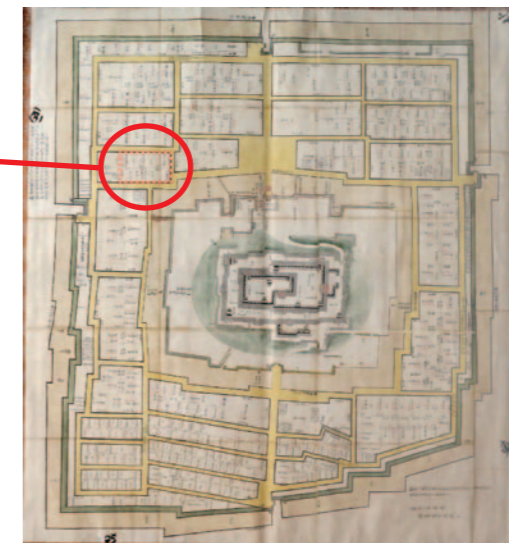
丸亀城跡(大手町地区)の発掘調査が始まりました

の点線部分にあたります。この区画の周辺には石高の比較的高い家老や、初代多度津藩の藩主の邸宅などが見られます。また各絵図を見比べると、それぞれの区画に住んでいる人の屋敷が移動している様子も確認できます。

これらの情報を整理しつつ、発掘調査の成果とどのようにかわってくるのか、今後の調査の中で明らかにしていきたいと思えます。



発掘調査風景



嘉永七年丸亀城家中屋敷割図
写真:丸亀市立資料館提供



国土地理院1:25,000地形図を使用

「子どもミュージアム」のお知らせ

遺跡の自由研究サポートデスク

身近にある遺跡を自由研究のテーマにしたい、という人はセンターへ。専門職員がサポートします。

日時:平成28年7月21日(木)～8月19日(金) 9時～17時(土・日曜・祝日は休館)

場所:香川県埋蔵文化財センター

体験講座「古代を体験してみよう」

※事前に申し込みが必要です

- a:古代の塩作りと沙弥島の遺跡探検
日時:7月21日(木) 9時30分～12時
場所:旧沙弥小中学校(坂出市沙弥島)
- b:土器を作ろう(定員に達しました)
日時:7月26日(火)・7月28日(木) 9時～11時30分

- c:編みかごを作ろう
日時:7月26日(火) 13時30分～15時
場所:香川県埋蔵文化財センター
- d:古代の糸作りを体験しよう
日時:7月26日(火) 13時30分～15時
場所:香川県埋蔵文化財センター

平成28年度考古学講座のお知らせ

「東日本大震災復興に係る発掘調査」

日時:9月3日(土) 10時～12時
講師:木下晴一(香川県埋蔵文化財センター 主任文化財専門員)
定員:30名
場所:香川県埋蔵文化財センター

申込先

電話かメールでお申し込みください
TEL:0877-48-2191 E-mail:maibun@pref.kagawa.lg.jp
詳しくは当センターのホームページをご覧ください

いにしへの讃岐 vol.90

2016年7月
発行:香川県埋蔵文化財センター
〒762-0024
香川県坂出市府中町字南谷 5001-4
tel:0877-48-2191 / fax:0877-48-3249
HP: http://www.pref.kagawa.lg.jp/maibun/
E-mail: maibun@pref.kagawa.lg.jp